

## 平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒が自信をもって社会に巣立つよう、「文武両道」の理念のもと、本校の校訓である「堅忍不拔」「好学叡知」「和衷協同」の実践を通して、高いコミュニケーション力に裏打ちされた豊かな「人間力」を持ち、社会貢献できる生徒を育成する学校。地域に根付いた地域に愛される学校をめざす。

- ①第一志望の進路実現
- ②より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化の創出
- ③生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

## 2 中期的目標

## 1 第一志望の進路実現

- (1) 学力向上の方策、三年間を見据えたキャリア教育計画等の充実により、100%の第一志望の進路を実現めざす。
  - ・将来について自ら考え、夢の実現に向けて自ら行動する生徒を育てる。
  - ・学力の客観的評価、学力生活実態調査等を継続的に使用し、その結果を分析し、進路指導等に生かす。
  - ・進学講習、授業の補習等を組織的、計画的に実施する。
  - ・漢検・英検等資格試験の受験者を増加させ、より難度の高い資格に挑戦させる。
- (2) 生徒を鍛えるための授業力向上。
  - ・オン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)が盛んに行われるような職場環境づくりを行う。また、ICTの活用など、様々な授業の工夫や互いの授業見学、公開授業などにより、生徒が『わかる授業』、『力をつける授業』を実践する。
  - ・授業アンケートを実施、分析し、組織的に授業力向上をめざす。(学校教育自己診断 授業満足度 H27年度 80%以上をめざす。H24年度 69.1%)
- (3) 自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立。
  - ・家庭学習など、自学自習の定着のための方策を講じる。学習と学校行事や部活動との両立を図る。
  - ・家庭学習等の時間の増加をめざす。
  - ・自習室の利用について(学校教育自己診断 H27年度 30%以上をめざす。H24年度 13.9%)

## 2 より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化の創出

- (1) HR活動、学校行事、生徒会活動、部活動等で生徒の自主性を育成し、自分を鍛え、人とのつながりの大切さを学ぶ。
  - ・体育祭、文化祭、修学旅行、芸術鑑賞等の学校行事の継承と発展。
- (2) 生徒の自主性、主体性を重視した生徒会、CM会議(部活動のキャプテン、マネージャー会議)、保健委員会、図書委員会等の活動の発展。
  - ・生徒会等を中心とした学校行事、地域連携、ボランティア活動の充実、あいさつ運動の向上を図る。
  - ・ボランティア活動について(学校教育自己診断 H27年度 75%以上をめざす。H24年度 61.3%)
- (3) 規律ある学校生活を行うため、基本的生活習慣の定着やあいさつ等マナーの向上。
  - ・清掃の徹底をめざす。(学校教育自己診断 H27年度 80%以上をめざす。H24年度 63.1%)
- (4) 生徒のコミュニケーション力向上を図ることにより、より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化を創出する。
  - ・ピア・メディエーション(仲間同士による紛争解決の手法。以下「PMJ」)クラブを中心にPM教育を牽引する。
  - ・生徒や教職員のコミュニケーションやPM研修等を実施し、生徒及び教職員のコミュニケーション力の向上を図るとともに教員のコミュニケーション指導力を充実する。
- (5) 海外からの生徒の受入れ等、グローバル人材の育成に向けた取組みの実施。
- (6) 保護者との連携をしながら、安全で安心な学校づくりを推進。(人権教育、就学支援、教育相談等)
  - ・家庭とのきめ細かい意思疎通と相談について。(学校教育自己診断 H27年度 80%以上をめざす。H24年度 74.8%)
- (7) 開かれた学校づくりにより保護者や地域との連携を密にし、さらなる生徒の育成を図る。
  - ・地域イベント等において生徒の出番を多く設定することにより、地域コミュニティの中での「育ち」を支援する。
  - ・地元中学校運動部交流大会「香里カップ」や地域文化交流イベント「香里フェス」を開催する。

## 3 生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

- (1) ICTの活用等、仕事の効率化、危機管理対応等の充実をめざし、校内組織の見直しと体制づくり。
- (2) スクラップ・アンド・ビルド方式を基本に、必要に応じて委員会等の新設及び改廃を行い、円滑な組織運営を行う。
- (3) 経験の少ない教員等の育成。
- (4) 校務処理システムの有効活用。
- (5) 教育環境等の整備、予算の効果的執行。
- (6) 広報活動の充実。
  - ・「香里PR隊」を結成し、文化広報部とともに中学校や地域住民に対する広報活動を充実させる。
  - ・ホームページ、香里丘メールサービス配信等で情報提供に努める。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 26 年 1 2 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>生徒・保護者とも学習・部活動・行事のバランスが取れていると評価。基礎学力・基本的生活習慣の育成についても概ね良好。行事・部活動の指導、生徒指導に関しては教員側も評価は高い。その一方で生徒相談体制の改善が必要と感じている教員も存在するので、学年・保健部・就学支援委員会の連携を強化する必要がある。</p> <p>生徒の授業・学習に対する取組み姿勢では、家庭学習の実施度が低い。入学当初に家庭学習の必要性を意識させ、習慣づけをすることが必要。教員としては、生徒の興味を引くわかりやすい授業をめざすべく、研究授業や相互授業見学(互見授業)を積極的に行っている。互見授業や生徒への授業アンケート結果を授業改善に活用している教員が9割以上である。しかしながら学習到達度の低い生徒への指導が十分でないと感じている教員も一定数あり、さらに手厚い指導が望まれる。</p> <p>HP等情報発信については保護者の約8割が肯定的な回答をしている。一方、保護者の記述に「HPをもっと見やすくしてほしい」との要望もあるので、改善に向けての努力が期待されている。</p> <p>学校運営に関する教職員の意見では、特に「学校運営に教職員の意見が反映されている」の肯定率が低い。昨年8月の内規改定により職員会議での審議・採決がなくなった影響と思われるが、今後は運営委員会での議論の活性化と各学年・分掌・委員会内でより一層の連絡体制の強化が必要である。</p>	<p>第1回(7/1)</p> <p>○香里丘高校はあいさつがよくできる学校という印象だ。本校(中学)生の香里丘への印象はとも良く、進学したいという者も多い。</p> <p>○とても良い学校、よくがんばっておられる学校という印象を受けた。ただひとつ、自転車のマナーには気をつけていただきたい。</p> <p>○入学してよかったという感想が多い一方、学力面で課題があるようだ。この課題解決の意味でも、OJTに力を入れておられるのはよいことだ。</p> <p>○先生方には、生活指導面も含めて、よくがんばっていただいで感謝している。次のステップは、先生方が見ておられない場面でも自律できる生徒を育てることではないか。自転車のマナーなどはその一例だが、このステップに向けての取組をお願いできればありがたい。</p> <p>○食堂の多目的化は、校内にフリースペースを設置し、生徒同士が交流を深め、自ら様々なことを学べる環境を提供できればよい。</p> <p>○第1志望の進路実現に向けて最後までねばり強くがんばらせる指導、やり遂げた時はこの上ない達成感があると思う。是非ともがんばってほしい。</p> <p>第2回(11/21)</p> <p>○ICTの授業への導入。古典の資料集もデジタル化されている物もあり、それらを活用すると親の経費も削減できる上に、学校の特色として外部にアピールできる。</p> <p>○パッケージ研修により授業見学シートを作成された。生徒はこのシートの存在を知らないようだが、生徒に説明してあげると、先生がどんな意識で授業をされているのか理解でき、生徒と教師が同じベクトルで授業に取り組めるのではないかと。</p> <p>○双方向型の授業を心がけることにより、生徒の居眠りが減少するのでは。中学校では子供が活動する授業を多く取り入れようと心がけるも、学力向上との結び付けが難しい。学校の課題の一つだと思う。</p> <p>第3回(2/3)</p> <p>○学校教育自己診断結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が授業力向上に向けて積極的に研鑽していることがわかる。この先生の頑張りや生徒の学習意欲向上へつながるようさらに研究をしてもらいたい。</li> <li>・保護者の満足度もおおむね高く、香里丘高校の良さがあらわれている。また学校に行くのが楽しいという生徒が80%以上となっていることはすばらしい。</li> </ul> <p>○アクティブ音楽専門コースの設置に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹奏楽にのめりこみすぎて学業がおろそかにならないか心配はあるが、コース設置は魅力的でよい取り組みだ。自己肯定感を高めて、自ら集中して学ぶ生徒を多く育ててほしい。</li> </ul>

## 府立香里丘高等学校

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
第一志望の進路実現	<p>(1) 生徒のキャリア意識の向上を図る。</p> <p>(2) 学力向上の方策、生徒を鍛えるための授業力向上。授業を大切に。</p> <p>(3) 自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立。</p>	<p>(1) ア 三年間のキャリア教育計画の充実と進路指導体制の充実。イ キャリア意識の向上を図る。(年2回の学力生活実態調査を活用し、担任の面談を通じて早期に進路目標を立てさせる。1・2年生の夏休みの課題で大学を2校見学、所定の報告書に将来の目標等を含めレポート提出、まとめてフィードバックする。中小企業家同友会等によるキャリア講演会の実施。ウ 進路の情報提供の充実(進路コーナーの設置。HPへのアップ。提供機会の増加。)</p> <p>(2) 教科主任会議を授業力向上PTと位置づけ授業力向上を図る。生徒が『わかる授業』『力をつける授業』をめざし、生徒に関関同立を目標とする学力をつける。</p> <p>ア オ・サ・ジョブ・トレーニング(OJT)が盛んに行われるような職場環境づくりを行う。授業でICTの活用促進。授業研究等イ パッケージ研修を活用した授業力向上の全体的取組。</p> <p>ウ 教科内OJTの活性化。教科別研究授業を年間3回実施し、教科内にて授業力向上を図る。</p> <p>エ 公開授業週間を6月と11月に実施、その時期を中心に、互見授業を行い、感想シートを授業担当者、首席に渡す。それを全体にフィードバックし、授業力向上につなぐ。</p> <p>オ ベル始業の実施。</p> <p>カ 1・2年生で基礎基本の学力の定着を図る取組みの強化。入学当初に学習リエンタテイン(ex 勉強合宿)の実施。</p> <p>キ 生徒の授業アンケートを行い、分析。授業力向上をめざす。</p> <p>(3) ア 家庭学習等、自学自習の定着のための方策。イ 自習室の利用を推進する。ウ 図書館の利用を促進する。エ 模擬試験、漢字検定、英語検定等の受験を促進する。</p>	<p>(1) 生徒アンケートにより、第一志望の進路実現を70%以上にする。</p> <p>ア 特に進路指導部と第3学年の連携強化。</p> <p>イ それぞれの取組状況。自己診断で進路に関わる項目の肯定率を平均10%向上。進路希望未定者、年度内5%未満。ウ 自己診断で進路情報提供項目肯定75%以上。各学年の廊下に進路コーナー設置。HPの充実。進路情報の提供機会の増加。</p> <p>(2) ア オ・サ・ジョブ・トレーニング(OJT)の実施状況。効果的なICT活用授業の増加。イ パッケージ研修を活用した全体的取組の実施。ウ 教科別研究授業を3回実施し、授業力向上につなげられているか。教員が互見授業を年間4回以上実施。授業の感想を提示。(担当者・首席に渡す)オ 授業時間を有効に活用する。</p> <p>カ 授業内容に、興味関心を持つことができた。授業を受けて、知識・技能が身についたと感じる。を重視し、授業アンケートでの肯定率2回共80%以上。</p> <p>(3) ア 家庭学習等時間、平均10分以上の増加。イ 自習室の利用、昨年13.9%から5%以上増。ウ 図書館の利用率、昨年比5%増。エ 模擬試験、漢字検定、英語検定志願者、昨年比5%以上増。</p>	<p>(1) 第一志望の進路実現70%(○)ア 合格可能性判定システム等の導入(○)イ 自己診断(生徒)で進路に関わる項目4%向上(△)未定者5.8%(△)ウ 進路情報提供 生徒75%、保護者72%各階廊下に進路コーナー設置 進路ブログの開設 学力判定システム等(進路通信の充実)の導入(○)</p> <p>(2) 教員の自己診断の授業に関する項目(研究機会12P 日常的話合い15P 互見授業の授業改善活用26P アップ(◎) ア 若手教員中心にICT活用授業時数の増加(△)イ パッケージ研修により香里丘スタンダードを協議、授業見学シートを作成(○)ウ 研究授業は2/6完了予定(◎)互見授業41名137回(H25 50名116回)(△)カ 次年度学習リエンタテインの実施決定(◎)アンケート1回目76.1%2回目76.8%(△)</p> <p>(3) ア 家庭学習等時間(○)イ 自習室利用(○)ウ 図書館の利用率、昨年比26.2%減(△)。エ 模擬試験1%増(△)、漢字検定16.1%増(◎)、英語検定6.5%減(△)</p>
より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化の創出	<p>(1) 生徒の自主性を育成し、自分を鍛え、人とのつながりの大切さを学ぶ。</p> <p>(2) 生徒会活動の充実。</p> <p>(3) 規律ある学校生活。</p> <p>(4) 生徒のコミュニケーション力向上を図ることにより、より良い豊かな人間関係づくりができる学校文化を創出する。</p> <p>(5)グローバル人材の育成。</p> <p>(6)安全で安心な学校づくりの推進。</p> <p>(7)地域連携によりさらなる生徒の育成を図る。</p>	<p>(1) ア 生徒の自主性を尊重。香里を考えるHRの充実。イ 体育祭・文化祭の生徒の達成感をさらに向上する。ウ 生徒会活動の充実。中学生対象の授業・部活動体験での発表。新入生歓迎行事の充実。など</p> <p>エ 新入生に対し、部活動入部を強く勧める。クラブ員による出身中学校訪問を組織的に実施する。中学校との合同練習。地域への貢献。</p> <p>(2) 生徒の自主性、主体性を重視した生徒会活動の充実。生徒会等を中心とした学校行事、地域連携、ボランティア活動の充実、挨拶の向上を図る。</p> <p>ア CM会議の充実。クラブ総会の発展。</p> <p>イ 保健委員会の活動の充実。</p> <p>ウ 図書委員会の活性化。</p> <p>エ 生徒総会の運営。書損じハガキやクレーンカー(年2回)等の取組みの継続、他との協同を検討、実施。</p> <p>(3) 基本的生活習慣の定着、挨拶等マナーの向上。</p> <p>ア 遅刻者数の減少。イ 挨拶マナーの向上のため、教職員からも挨拶の徹底・声かけの実施。ウ 清掃の徹底。</p> <p>(4) ア NPO法人や大学等の学識経験者の協力を得て、コミュニケーションやPMに関する生徒や教職員の研修を実施し、理解を深めると共に人間関係づくりの一つの手法として定着を図る。また生徒や教職員のコミュニケーション力(指導力)の向上を図ると共にいじめやトラブルを起ささない、見逃さない生徒を育成する。</p> <p>イ 食堂の多目的化により、生徒の交流場所を提供し、コミュニケーション力向上や人間関係づくりに活用する。</p> <p>(5) ア 海外の生徒等との交流を計画的に行う。</p> <p>イ 海外の生徒とのTV会議の実施。</p> <p>(6) ア 安全で安心な学校づくりを推進するため、保護者との連携に留意する。</p> <p>イ PTAと共催で、人権研修の実施と充実。</p> <p>ウ 障がい等の事情により、学校生活を送るにあたって困難を伴う生徒について、就学支援委員会や生徒支援カード等により収集した情報を共有し、個別の支援計画など、保護者と連携しながら作成、充実した指導をめざす。エ 教育相談体制等をさらに充実。</p> <p>(7) ア 地域イベント等において生徒の出番を多く設定することにより、地域コミュニティの中での「育ち」を支援する。</p> <p>イ 地元中学校運動部交流大会「香里カップ」や地域文化交流イベント「香里フェス」の開催数を増やす。</p> <p>ウ 地域の学校や団体との連携・交流の充実。</p>	<p>(1) ア 生徒からの学校生活改善等提言内容によって評価する。</p> <p>イ 満足度90%以上維持。</p> <p>ウ 生徒会関係行事の充実状況。</p> <p>エ 部活動加入率1年生80%以上。出身中学校訪問5部以上。中学校との合同練習7部以上。</p> <p>(2) ア CM会議年間25回以上。クラブ総会の年3回の継続と内容の充実。</p> <p>イ 保健委員会による、学校保健委員会での活動報告。エコキャップ活動の協力。</p> <p>ウ 図書委員会、年4回以上。</p> <p>エ 生徒会活動の活性化。自己診断肯定率80%以上。挨拶運動の実施。</p> <p>(3) ア 遅刻者数の5%減 イ 登校時の挨拶運動の実施。日常の教職員からの挨拶を含む声かけの実施。ウ 校内美化についての自己診断の肯定率80%以上</p> <p>(4) ア コミュニケーションやPMに関する生徒や教職員の研修を各1回実施する。生徒や教職員の日頃の傾聴力の向上を検証。</p> <p>イ PMクラブの発足とPMやコミュニケーションに関する他校との連携の状況。</p> <p>(5) ア 海外生徒との交流を2回以上実施。</p> <p>イ TV会議等を年3回以上実施。</p> <p>(6) ア 安全で安心な学校づくりについて、PTA実行委員会等で推進。PTAによる登校指導を6回以上実施。</p> <p>イ 人権研修の実施。人権を学ぶ機会 自己診断70%以上。</p> <p>ウ 委員会を年3回以上の開催し、全体で情報を共有する。</p> <p>エ スクールカウンセラーと学年との連携の深まり。</p> <p>(7) ア 地域イベントへの参加状況。</p> <p>イ 「香里カップ」を3部以上「香里フェス」を2部以上の実施。</p> <p>ウ 連携・交流の状況。</p>	<p>(1) ア 女子の制服ズボン着用。食堂メニュー改善。SNS利用方法等(◎)イ 満足度84%(△)ウ 生徒会ベスト作成。週各1回ずつ早朝挨拶日・清掃日の実施。12校の制服調査と生徒会交流(◎)エ 加入率1年84.4%(◎)出身中学校訪問は1部(△)合同練習は9部実施(◎)</p> <p>(2) ア CM会議(○)クラブ総会(○)イ 学校保健委員会での発表(○)エコキャップ活動(○)ウ 図書委員会5回実施(○)エ 生徒会活動肯定率81%、挨拶運動実施(◎)</p> <p>(3) ア 遅刻者(4~12月)昨年655→今年608(◎)イ 挨拶(◎)ウ 校内美化77%(△)</p> <p>(4) ア 研修を生徒・教員各1回実施(○)イ PMクラブ発足できず食堂の多目的化は図面まで完了(△)</p> <p>(5) イングリッシュクラブによる海外生徒とのTV会議を1回実施。(△)</p> <p>(6) ア PTA登校指導6回(○)イ 人権を学ぶ機会 自己診断77%(◎)ウ 就学支援委員会7回(◎)</p> <p>(7) アウ 地域行事への参加 老人福祉施設敬老会、地域高齢者の集い、自動車教習所、クリスマスコンサート、枚方市クラブフェス等(◎)イ 香里カップ実施3部、香里フェス1部実施。(○)</p>
生徒の力をしっかりと伸ばす学校力の向上	<p>(1) 円滑な組織運営(スラップ・アット・ビルト方式)。</p> <p>(2) 危機管理対応等の充実。</p> <p>(3) 経験の少ない教員等の育成。</p> <p>(4) ICTの有効活用。</p> <p>(5) 教育環境の整備等、予算の効果的執行。</p> <p>(6) 広報活動の充実。</p>	<p>(1) 運営委員会(プロジェクト委員会)が中心となり、必要に応じてPTや委員会を新設及び改廃し、円滑な組織運営を行う。その際、原則、有志参加者も募る。</p> <p>(2) 地震火災対応・AEDの使用について、教職員・生徒への周知等の工夫。</p> <p>(3) 新任から4年目までの教員対象に「香里会」で勉強会を実施する。自信を持って授業や生徒指導等に当たることができるよう進める。危機管理を含めた保護者対応。研究授業の実施、授業、部活動等先輩教員の指導に学ぶ。</p> <p>(4) 情報処理委員会を中心に各部と連携して取り組む</p> <p>ア 校務処理システムの有効活用をめざす。指導要録、成績処理に活用する。イ ICTを活用して教材等の共有化や成績処理など、日常業務の軽減を図り、教材研究をする時間を確保する。</p> <p>(5) 教育環境の整備等、予算の効果的執行。</p> <p>(6) 文化広報部や「香里PR隊」により中学校や地域住民に対する広報活動を充実させる。</p> <p>ア 中学生学校見学会等の充実。参加者数の確保。</p> <p>イ HPの更新を計画的に行う。</p> <p>ウ メール配信登録者に年間通じて、情報提供に努める。</p> <p>エ 学区撤廃に伴う、より計画的な中学校訪問の実施。</p>	<p>(1) PTや委員会の新設改廃状況。円滑な組織運営。自己診断70%以上。</p> <p>(2) 防災訓練2回実施。生徒、教職員対象AED講習会の充実。</p> <p>(3) 年間5回以上実施。学校運営への参画意識の向上。</p> <p>(4) ア 指導要録、成績処理等のICT活用の定着。</p> <p>イ 全教科でイントラネットを活用した教材共有システムの開発。成績処理のICT化等、業務軽減の状況。</p> <p>(5) 節水、節電等の状況。</p> <p>(6) 文化広報部や「香里PR隊」による広報の状況。</p> <p>ア 学校見学会等参加者、10%増。(今年度6回約1100人)イ 月3回以上更新する。ウ メール配信登録者、60%以上。年間配信数40件以上。エ 年2回の中学校訪問の内容の充実と新たな訪問校の開拓。</p>	<p>(1) プロジェクト委員会の改編、卒業式委員会の廃止 27年度から。(○)円滑な組織運営 自己診断47%(△)</p> <p>(2) 防災訓練2回、AED講習(イベント含む)教員2回、生徒1回実施(◎)(3) 香里会5回実施。(◎)</p> <p>(4) ア 校務処理システムによる指導要録、成績処理(○)</p> <p>(5) 節水・節電により予算(◎)</p> <p>(6) ア 学校説明会参加者3回合計1281名(内中学生学校見学会昨年度より中学生1P保護者18P増)(◎)イ HP更新 部活動等11ブログを開設し香里丘だよりとともに更新回数増加(◎)ウ メール配信登録59.5%(○)現時点配信数53件(◎)エ 例年と同様(○)</p>
追加	<p>(1) 生徒の総合力を伸ばす取組で学校の特色づくり推進</p>	<p>(1) 平成27年度入学生からアクティブ音楽専門コースが実施できるように設置へ向けての取組を進める。</p>	<p>(1) 平成27年度からアクティブ音楽専門コースの設置の許可を得る</p>	<p>(1) コース設置の許可を得た(◎)</p>